

経営比較分析表（令和2年度決算）

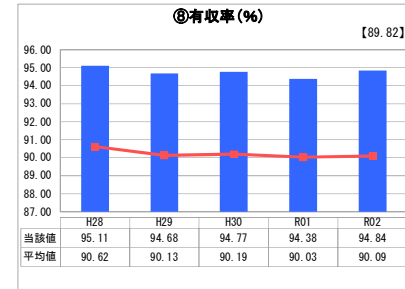
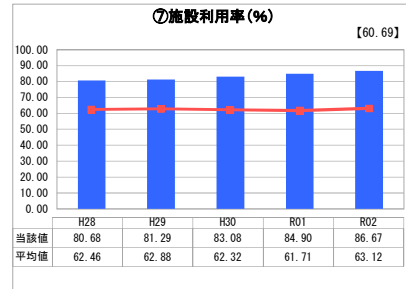
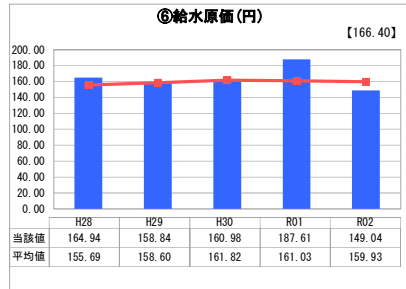
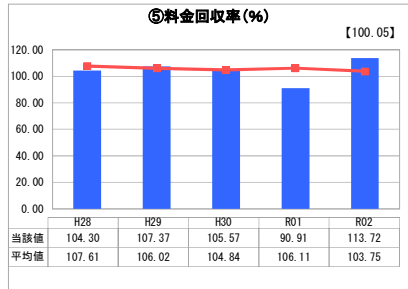
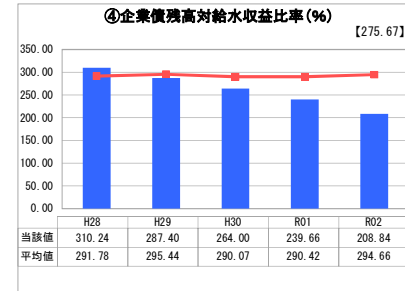
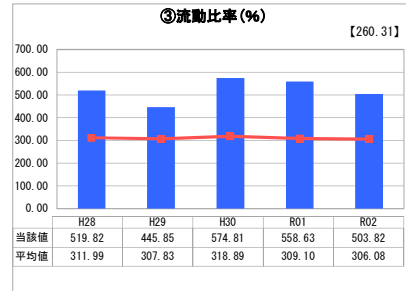
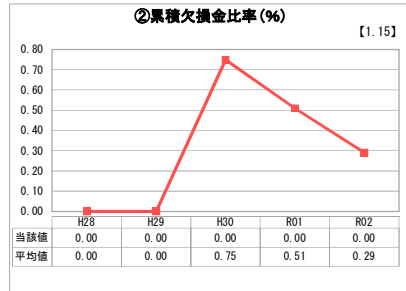
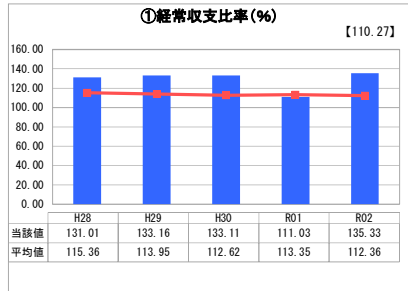
千葉県 流山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A2	自治体職員 その他
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	78.01	99.31	2,673	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
200,309	35.32	5,671.26
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
199,504	35.35	5,643.68

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、給水人口の増加に伴う給水収益の増収や、一般会計への納付金が資本的支出として計上されることとなったことにより上昇した。累積欠損金は発生しておらず、②累積欠損金比率も0%であることから、健全な経営水準にあるといえる。

③流動比率は、納付金等のキャッシュアウトにより平成30年より低下傾向であるが、依然として高水準を維持。給水収益の伸びに加え、計画的な企業債の償還により、④企業債残高対給水収益比率も年々減少している。短期・長期ともに安定的な経営状況である。

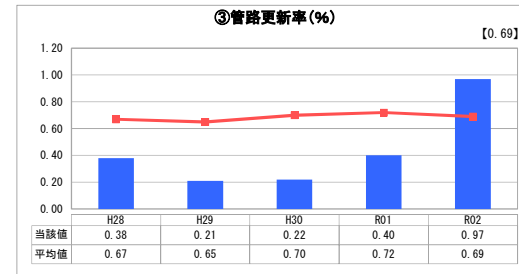
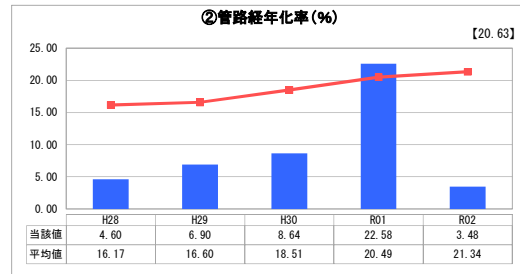
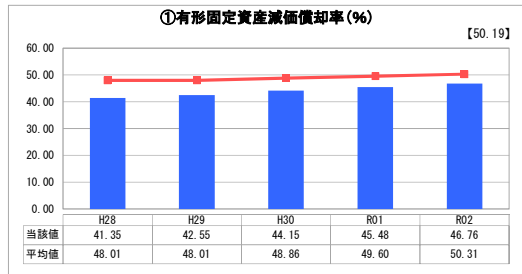
⑦施設利用率および⑧有収率は、類似団体と比べ高い水準で推移しており、効率的でムダのない施設・設備の運用がなされている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率および②管路経年率は類似団体に比し、低位で推移しており、老朽化への対応は十分なものと見られる。

一方、区画整理に伴う配水管の新設にも尽力しており、今後も計画的な更新を進めていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

給水人口の増加に伴い、年間有収水量は増加しており、今後も安定した収益が見込まれる。また、施設・設備の適切な管理、管路の老朽化対策を行っていることから、経営状況は概ね良好であるといえる。

引き続き水道施設・管路を適切に維持管理し、健全経営を維持していく。